

人権文化会館だより

第 423 号
平成 30 年 7 月

四国中央市
朝日文化会館

電話 : 28-6070
FAX : 28-6104

愛隣連 先進地視察研修

平成 30 年 7 月 11 日(水)～13 日(金)に
愛媛県隣保館連絡協議会先進地視察研修
(大分県・熊本県)が実施された。

1 日目午後、豊後大野市隣保館では、一日も早い部落解放を願って当時の人たちの思いを受けとめられるよう、「むら」を歩いている。フィールドワークが実施されており参加した。数多く残されている遺物遺跡をめぐることにより、なぜと考える道筋が示されており、タブー視されている歴史事実の正しい認識をという思いが伝わってきた。

キリシタン墓、大友氏の抱き茗荷紋の瓦や神社、禁止されていた家紋、違い鷹紋や大造な墓など、多くの遺跡をどう受け止めたかが大切であるという言葉が心に残った。

2 日目午前、阿蘇近くにある大津町人権啓発福祉センターでは、熊本地震避難対応について聴いた。4 月 14 日～5 月 31 日の

48 日間で延べ 10001 人が避難。1 回目の前震(震度 5 強)2 日後本震(震度 6 強)があった。館職員も被災者となった。

避難者は屋外避難となり木くずを燃やして暖をとり毛布にくるまって励ましあった。食べるものもなく近所の人が持ち寄ったカライモを焼き芋にして空腹をしのいだ。

避難所の運営は地域の人、小・中学生、民生委員、センター利用者等、多くの人の協力があり、テントでの応急トイレ、救援物資の仕分け、炊き出し、ダンボールベット作り等ができた。地域コミュニティの大切さを思ったこととです。人と人とのつながりが力になると思った。

2 日目午後、合志市人権ふれあいセンターでは、ハンセン病について研修した。

今、日本はハンセン病がほぼ根絶された状態と言える。しかし本人がかつて病気であったことを素直に話せない状態が続いている。

合志市には菊池恵楓園がある。

「壁をこえて」のビデオを作成し、一番問題

となつているハンセン病を正しく理解すること、人が人らしく生きていける社会の実現を目指している。壁は私たちが越えていかねばならないという言葉が心に残った。

3 日目午前、杵築市隣保館では汚染一揆よりも 50 年も前に起こった一揆について研修した。

杵築藩浅黄半襟逃散一揆は、衣類で身分がわかるよう浅黄半襟を着用せよという藩に対して、人権をめぐる闘いに立ち上がり隣藩の島原領へ集団逃散を実行した。百日間に及ぶ帰る保証のない逃散の実行だった。(その後藩同士の話し合いで無事村に帰ることができた。)

隣保館ではフィールドワークの研修を取り入れている。いじめにさらされている少年がこの一揆の話聞き、勇気付けられる内容の教材も作成している。この一揆から学びたいという思いが伝わってくる内容だった。また、杵築隣保館に立てられた部落差別解消推進法に関するのぼりの中に、市、教育委員会、人権教育協議会の名があり、市全体として取り組んでいることを感じた。

今回の研修では、どの館も課題を明確にし、それぞれ連携をとりながら取組を前に進めており、積み重ねがあった。多くを学んだ研修であった。

会館まつりの風景



31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水		
卓球	貯筋体操 / 子ども英語 教職員隣保館学習会(第4回)	囲碁 / スマイルジュニア / 卓球	卓球 / スマイルキッズ / 健康体操	卓球 / 囲碁		子ども将棋 / 囲碁	卓球	貯筋体操 / 子ども英語 教職員隣保館学習会(第3回)	囲碁 / スマイルジュニア / 卓球	卓球 / スマイルキッズ / 健康体操	卓球 / 囲碁		囲碁	卓球 教職員隣保館学習会(第2回)	貯筋体操 / パソコン / 子ども英語	囲碁 / スマイルジュニア / 卓球	卓球 / スマイルキッズ / 健康体操	卓球 / 囲碁		山の日	卓球 三島地域就学前研修部会	各種相談日 パソコン / 子ども英語	ふれあい喫茶(百円モーニング)	囲碁 / スマイルジュニア / 卓球	スマイルキッズ / 健康体操 教職員隣保館学習会(第1回)	卓球 / 囲碁		子ども将棋 / 囲碁	卓球	貯筋体操 / パソコン / 子ども英語	囲碁 / スマイルジュニア / 卓球	
																	行事予定(8月)															